

ミンダナオ日本人商工会議所と経済友好協定を締結

ひたちなか商工会議所とフィリピンのミンダナオ日本人商工会議所（ダバオ市）はこのほど経済友好協定を締結した。きっかけは昨年10月、今年の3月と視察を相互の交流が始まり、3月の視察では鈴木会頭が現地の三宅会頭と会談した際に、三宅会頭から提案があり今回に至った。協定は8月2日に日本大使館ダバオ領事事務所で三輪領事の立会いの下に、当所柳生副会頭、ミンダナオ日本人商工会議所の三宅会頭との間で取り交わされた。三輪領事からも両国の今後の交流発展につながるものと歓迎の意が表された。

フィリピンは現在のドゥテルテ大統領が就任以降、急速に治安も改善し、特に大統領の出身地であるダバオ市を中心としたミンダナオ島は経済成長が著しく、インフラ整備を中心に世界中から投資が集まりつつある。ミンダナオは資源も豊富であり、日本との縁も深いこともあり、今後の経済成長の見込まれることから協定の締結に至った。この協定では相互のゆるやかな交流を通じて、互いの会員企業のビジネス拡大のため、情報交換、物流促進、観光振興をうたっている。早速来年五月にはダバオ市の企業のひたちなかへの訪問が決まった。またこれを機に、会員企業の最大の課題である人手不足対策として、フィリピンからの人材の受け入れにつながることで、会員企業の新たな市場開拓につながることを期待できる。



中央が三輪ダバオ領事 右がミンダナオ日本人商工会議所三宅会頭